

仏事コーディネーター  
資格取得者を訪ねて  
BUTSUJI-COORDINATOR

吉運堂新潟東店（新潟）

「さらに研鑽を深めたい」

中村 薫氏



中村 薫氏（吉運堂 新潟東店）

吉運堂（新潟）は新潟県、山形県、宮城県に22店舗（白根本店・新潟駅南店・新潟青山店・新潟東店・村上店・新発田店・佐渡佐和田店・燕三条店・見附店・長岡店・小千谷店・六日町店・柏崎店・上越店・糸魚川店・酒田店・鶴岡店・山形店・米沢店・天童店・仙台いずみ店・ストーンミュージアム）を展開。同社は「仏教」を通して人・社会・文化に貢献する企業を目指しており、安心と信頼のサービスはこれまで多くの人々に親しまれてきた。今回、取材に御協力頂いた中村薫氏は吉運堂新潟東店のスタッフを務め、日々多忙な業務をこなす。業務は営業が中心。研修の際、自分の意志で選択、マーケットの開拓に魅力を感じたという。中村氏は新潟県出身。高校卒業後、販売業に従事していたが、今から5年前、縁あって吉運堂に入社。実家は真宗大谷派で仏壇があり、現在の仕事は身近なものに感じられたという。現在、仏事コーディネーター資格（2015年取得）の他に「お墓デザイン」の資格も取得。昨年、二つの資格にチャレンジし、いずれも合格



店舗外観（吉運堂 新潟東店）

したが、仏事コーディネーター資格試験はたいへん難しく、「合格するとは思っていませんでした」と話す。受験前は仕事が終わったあと、自宅で学習を続けたという。社内の合格者のアドバイスをはじめ、ガイダンスをはじめから終わりまで読み、気になった箇所は、ガイダンスに附箋やアンダーラインをかなりつけた。「必ず合格したい」という気持ちが強かったと当時を振り返る。受験当日、受験会場で同社のスタッフが数名、受験に来ていたが、中村氏のガイダンスを見て、附箋やアンダーラインの多さにたいへん驚いたという。また合格後は、仕事へのプラス効果を実感。お客様から問い合わせがあつてわからないときはインターネットで調べることが多い。そのほか仏事の地域性の違いにも関心を抱く。ところで、新潟東店は



墓石の展示（吉運堂 新潟東店）



都市型仏壇の展示（吉運堂 新潟東店）



唐木仏壇の展示（吉運堂 新潟東店）